

職場組合員の団結力の勝利

JAM運動を強化し 現場の声でより良い社会へ

JAM会長 安河内賢弘

【機関紙 J A M ・ 2025 年 7 月 25 日 発行 第 318 号】



このたびの第 27 回参議院議員通常選挙におきまして、郡山りょうが当選の栄誉を賜りましたことを、お支え頂きました組合員の皆様に心より御礼を申し上げます。大変厳しい選挙戦ではございましたが、最後に議席を獲得できたのは、まさに職場組合員の団結力の勝利

だと確信を致しております。本当にありがとうございました。実に 9 年ぶりに J A M の悲願であった参議院議員全国比例区での議席を獲得することができ、村田きょうこ参議院議員から渡された勝利のバトンを繋ぐことができました。

郡山りょう参議院議員を大きな時代の変革期に誕生させることができたのは J A M の組合員、あるいはものづくり産業にとって重要な意味を持っていると考えています。

この国の基幹産業はものづくり産業ですが、物価高の中での価格転嫁は未だ道半ばであり、公正取引の実現によってサプライチェーン全体の持続可能性を担保していかなければなりません。しかし残念ながら選挙戦を通じてこの問題に言及した候補者は郡山りょうただ一人ではなかったかと思っています。もう一度、価値を認めあう社会への運動を再起動させなければなりません。さらにトランプ関税も大きな脅威であり、政治の関与は不可避といえます。また労働基準法の本格的な大改正が約 6 年ぶりに行われようとしています。労働時間規制や解雇規制の緩和など私たちの働き方に重大な影響を与えかねない改悪が懸念されます。

こうした中、日本においても外国人に対して排外主義的な発言をするポピュリズムが勢力を伸ばしています。この難しい局面で私たちの代弁者を国会に送ることができたのは大きな成果です。私たちは政治に大きなパイプをつなぐことができました。このパイプを最大限生かして、私たちの現場の声を国会に届けていかなければなりません。

これから J A M 運動をさらに強化し、現場の声でより良い社会へと変えていきましょう。